

公共情報コモンズ合同訓練 NHK参加報告

平成26年6月30日

NHK編成局デジタルコンテンツセンター

NHKの訓練参加概要



【参加放送局】 自治体が訓練情報を配信した全地域の16放送局

札幌・秋田・福島・首都圏・新潟・甲府・静岡・津・大津・大阪・神戸・鳥取・徳島・高松・松山・高知

【訓練内容】

データ受信から公開までの操作手順確認

配信されたデータの妥当性を検証

データ放送、インターネット、携帯の各コンテンツについて表示を確認

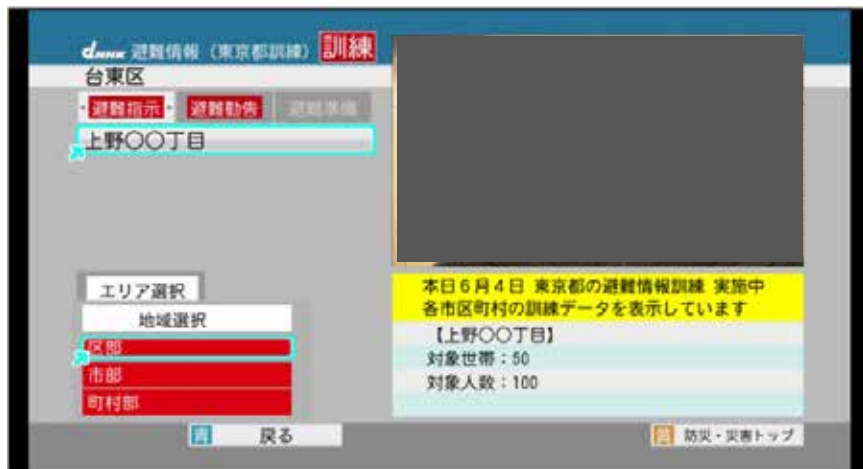
データ放送コンテンツの訓練放送を実施する(16局のうち8局)

首都圏放送センターの事例

首都圏放送センターでは、東京都が配信した訓練の避難情報をデータ放送コンテンツに反映させて、訓練放送を実施した。誤解を招かないよう、画面には訓練であることを明示。

東京都の本運用開始に合わせ、首都圏放送センターとしても本運用開始。

訓練前日と当日に、ニュース番組の中で「公共情報コモンズ」の概要や訓練の実施について詳しく紹介。視聴者への認知度を高めた。



訓練の成果と課題

訓練を通じて都道府県や市区町村と連絡を取り合うことで、連携を確認することができた。

訓練放送を実施した地域の市町村担当者からは、「入力した情報が素早くテレビに表示されて驚いた」等の感想が寄せられた。

災害時の放送局内での役割分担やシステム操作等の再確認ができた。

データ放送コンテンツの操作や表示について、より視聴者に分かりやすく、使いやすくするための改善点が明らかになった。

自治体が発令区分を上げる際にバージョン更新ではなく新たに情報を出したり、ひとつの項目に複数地区を入力するなど、入力操作の習熟が必要なケースが散見された。

訓練情報と同時に本番情報を受信した放送局があり、調べた結果、自治体が去年から開設避難所情報を出したままの状態になっていた。「解除」「閉鎖」の情報発信は、特に忘れやすい傾向がある。